



NAGANO  
1 9 9 8



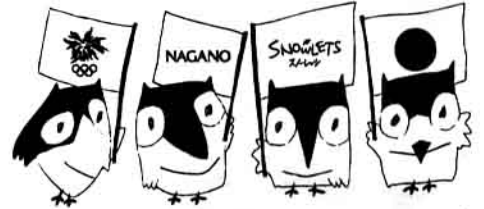
© 1993 NAOC TM NAOC 7-270

大会エンブレム

## 長野オリンピックを支える

# 同窓生群像

特 別 企 画



98年2月7日から22日までの16日間(文化プログラムは3月1日まで)長野オリンピックが開かれる。「世界からひとつの花になるために」(大会テーマ)、83の参加国・地域がやって来る。ふるさと長野で、この歴史的イベントの準備と運営に活躍する同窓生の姿を追ってみた。(カッコ内は卒業期)

事、オフィスの提供と一切の世話を焼く。時々刻々の情報も競技結果、選手の略歴、競技後のコメント等を3カ国語でリアルタイムで提供、記者はこのセンターにいるだけで本国に記事を送ることもできる。また競技



輸送部門に佐藤博文氏(64)と由井均

がこれを担当している。



メインプレスセンターの前に立つ林氏

子氏(85) 等医事全般を司る。メダリストのドーピング検査や性別確認もこの医事課の仕事。山崎敦

長野オリンピック組織委員会は県庁や学校、市町村、関連企業等から人材が派遣され構成されている。その報道部長が林正夫氏(57)。3年前信毎から出向、期間中はメインプレスセンターの責任者も務める。各国から来る報道陣に成田に着いてからの交通、宿泊(メディア村には350人泊まれる高層住宅を作った)・食

の当日の組み合わせやスタートリストなどのデイリープロもここで作る。150万部も印刷するのだという。この報道部門に北沢孝志氏(75)、林克臣氏(79)もいる。大会時は滑降、カーリング会場の報道部長を務める。医事責任者が小林茂昭信大医学部脳神経外科教授(54)だ。環境衛生(食中毒等の防止や対応)、選



食事の提供や売店の管理、一日に千トン出るといふゴミの処理は業務課の仕事。宮島哲朗氏(84)が休日でも子連れ出勤でがんばっている。



氏(74)。由井氏は普段は県で土木工学の専門家。今50以上の駐車場の建設と整備にあたっている。

## 総会 開催

第36回総会は6月28日成功裏に開催されました。詳細ははさみ込みの別紙をご覧ください。



専門の分野に企業から出向して来ている人もいる。NPOの中村郁子氏(83)や日本IBMの清水寿一氏(58)だ。清水氏は数千台のコンピュータやプリンターの設備計画で活躍、国際放送センターの情報システムの責任者でもある。IBMは長野オリンピックのスポンサーであると同時に情報システムのサプライヤーでもある。競技結果を瞬時に計算して順位を出したり、スコアボードに表示したりとあらゆるデータ処理を一括して行うこのプロジェクト本部の長野地区部長が高山三千夫氏(57)だ。上田同

期の友が「いつも100点だった」と振り返る数学の天才。「郷里で仕事したい」の一心で長野に赴任してからアツという間の二年間。当初10名でスタートした組織は今数百名の大部隊。大会時には千人を超える。高山氏はここで主に渉外に携わる。「渉外とはIBMと長野県の橋渡しです。組織委員会や県庁、長野市、軽井沢町などの市町村、信毎や信大など沢山の方々にお目にかかります。この仕事では人脈の有無が鍵ですが幸いなこと



## 信州豆知識 シナノキって 知ってる？

昔から長野に多く自生し、科野国と記され、転じて信濃国となった。1〜15千の深山の谷合いに多い。夏に淡黄色の可憐な花がたくさん集まって咲き、秋に小さな実をつける。木の皮はしなやかで布、ロープ、美濃紙の原料、材は割り箸、ベニヤ、木彫り細工に。甘い香りのする花からは良質の蜂蜜がとれる。(写真は長野駅前前のシナノキ)

に上田高校のOB・OGが要所要所で活躍しており、そのご紹介で次々にネットワークを作っていくことができました。上田高校出身という肩書きをフルに享受しているわけです。上田を卒業してから大学、職場ともずっと東京でした。オリンピックのおかげで40年ぶりに郷里で生活することができました。信州はやはり最高です。温泉につかり、山並をながめているとこの世の天国です。ずっとこのまま居着いてしまいたいと思っているこ

の頃です」と語る。この本部には竹花強氏(77)もいて競技結果速報システム開発に従事している。特にスピードスケートの担当者として、スケート連盟、テレビ局、SEIKO社などと連携を保ちながら開発やテストに活躍している。

このほか、後述のような諸氏が組織委員会に在る。またコンピュータに入力したり、プリントを配って歩くボランティアの方々もたくさんいるからこうした形で活躍している同窓生の方も多いことだろう。オリンピック観戦のかたわら、これ

- ・ 企画財政課・清水深 (74) 施設課・竹内繁夫 (67) 宿泊課・宮原茂 (80) スポンサーセールズ・関真一 (73) デザインアドバイザー・馬場雄二 (54)

## ある 人生

Kは、いつもクラスで優位な成績を占めるおとなしい少年であった。Kは、できれば中学校(五年制で現在の中学、高校を合わせた程度のもの、試験をして入る。)に進みたいと思っていた。Kの家庭は人数も多く、毎日の生活が火の車であった。Kは、何とか進学できないものかと夢みていた。Kは思い切ったこの希望を家族に打ち明けてみた。家族は誰もが勉強には反対しなかった。しかし、学費のくめんについては暗い表情であった。Kは家族の学問に対する理解だけでうれしかった。Kは子供心にも決心した。「働かなから学がこを」。Kは担任にこのこと一切を話した。やがて担任はKの志をかなえるような就職口を教えてくださいました。それは中学校の助手の口であった。Kは四十余名の中からただ一人聴講の許される中学校の助手に選ばれた。Kは助手の仕事に打ちこんだ。汗ばむくらい働いた。研究室は見違えるように整頓されくふうされた。泥でももれた床の木目もつやが出た。Kはまた、勉強にも必死であった。家庭でも仕事におわれたKは、寸暇をみつつけて努力する以外に方法がなかった。しかしよく勉強した。(部分抜粋)

これは、「老蛙の回想と眩き」と題された本の「ある人生」の一節である。八組の担任だった丸山先生が春の叙勲で勲四等瑞宝章を受章された。伝達式の当日、在京の18人が集まり祝賀会を開催。その席上お祝いに先生がこれまで書いたためこられたものをまとめて記念出版することが決まった。

七名で編集委員会を作り、先生原稿を構成編集した。クラス有志の協力費をもとにして、220頁の本が約100日で完成した。内容は、丸山先生の幼少の頃の思い出、中学・高等師範時代の苦勞話、教

## TOPICS 交差点



委員代表の久保治夫氏(56期)に紹介の文を書いてもらった。

### 上田松尾高卒業生 恩師の回想出版



元公立高校長丸山先生は、由緒長い上田松尾高の由緒長い(丸山先生)時代の卒業生が、丸山先生に宛てて、先生の手記をまとめた「感無量」(丸山先生)を出版した。先生の手記は、先生の手記をまとめた「感無量」(丸山先生)を出版した。先生の手記は、先生の手記をまとめた「感無量」(丸山先生)を出版した。

### つづる学生時代 教育現場の工夫

丸山先生は、先生の手記をまとめた「感無量」(丸山先生)を出版した。先生の手記は、先生の手記をまとめた「感無量」(丸山先生)を出版した。先生の手記は、先生の手記をまとめた「感無量」(丸山先生)を出版した。

「感無量」— 公立高校長丸山さん

0426-77-7113

編集長インタビュー

ノンフィクション作家 宮原安春氏

遠いまなざし

ある人がこう証言する。

「両陛下から赤坂御所に招かれたときのことです。軽井沢へ行けなくなったことをとても寂しく思っていました。軽井沢からゆうすげを分けてもらって育てたのがありまおっしやったことがありません。丹精こめてペランダの向こう側にある前庭で増やしたのでしよう、ペランダに顔を向けますとその瞬間に電気がスーッと消えて、丁度上がつてきた月の光にほんのりとゆうすげの花壇が浮かび上がったのです。こういう美的感覚を皇后さまは持っているらしいです。そういう繊細な感覚をお持ちであることをどれだけの



人が知っているでしょう。か。また、軽井沢に行けなくなった切なさを誰がわかっているのでしょうか。」「文芸春秋」11月号のトッブ記事となった「美智子皇后 封印された悲しみ」の一節である。この文には皇后の軽井沢への思いが随所に描かれていて、我等信州人のしみじみとした共感をよぶ。

実はこの文の筆者こそ、上田高校58期卒業、宮原安春氏なのだ。氏は、

れ、風の音、小川のせせらぎとともにビビッドに描いた。この宮原氏だからこそ、皇后の軽井沢への思いも理解し、表現できたのだと思う。



宮原氏にはまた「神谷美恵子 聖なる声」という著書（講談社刊）もある。美智子妃と「キンドレッド・ソウル」の魂の友情ともいえるべき強い絆で結ばれた神谷美恵子の伝記である。いや、外務官僚の長女に生まれ、海外で音楽や文学の豊かな教養を身につけながら

社を大きくすることだけを考え道義を忘れた経済人、定見も指導力もない政治家、軽佻浮薄な芸能人ばかり、という感が強い。その中で、宮原氏の見つめるものはいつも清い。神谷美恵子についても、「私の関心は医師としての彼女ではなく、心の愛に生きようとした一人の人間としての生き方に進んだ。聖なるものへの欲求を追って生きた魂の遍歴だ」というのである。「聖なるもの」が見失われた現代、氏のこの視線は際だって貴重である。

宮原氏は、上田から早大露文科に進んだ。時はあたかも60年安保の嵐の中。学生運動に身を投じて中退。アメリカに渡り、

が読者の心を打つのだ。氏はいま、AERAで「現代の肖像」も書いています。AERAの看板記事。それを21人も書いたのは宮原氏が最高。最近では高橋真梨子や宇崎竜童を書いた。カウンターカルチャーや女性を書かせたらこの人の右に出る者はいない。いつも弱い立場の味方なのかも。毎週土曜日、信毎に「信州・老いの現場から」というルポも連載している。

深刻な危機は一度あった  
知られざるエピソードで綴る

美智子皇后 封印された悲しみ

橋本首相の醜態が意味するもの

泉井疑惑渦中の人物が爆弾告発

春秋 山崎拓氏よ、それでも人間か 泉井



講談社文庫「軽井沢物語」の著者でもある。リゾートをノンフィクションとして描いた。それも、明治以来ここにやってきた人たちの

感動のドラマを、その人たちが感じた真夏の草いき

神谷美恵子



聖なる声



「病人が私を待っている」と医学に身を投じ、ハンセン病患者のために働くことに情熱を捧げた巨人女性の伝記である。

今、ジャーナリズムを賑わわせているのは、会

「かの時に我がとらざりし分去れの片への道はいづこに行きけむ」というのは美智子皇后が「道」という題で詠んだ和歌である（平成七年）。「分去れ」は軽井沢の追分にある地名である。「片への道はいづこに行きけむ」・宮原氏には、複雑で微妙な人生を柔らかに見つめる「遠いまなざし」がいつも感じられる。

祝!

会報 58号

57期

各組 代表幹事

- 彦雄 弘生
- 毅一 功恒昇 涉康拓
- 井井木 原田 島水 沢
- 有松 桑神 小清 中
- 組組組組組組組組
- 1 2 3 4 5 6 7 8



## 初の学校案内 個性鮮やか

母校上田高校は、初めての学校案内を作り中学校などに配布した。高校が多様化する現代、上田高校の特徴を知ってもらうため、高校選択の参考にしてほしいとのねらいだ。パンフレットには、上田高校の自

母な校風と、細川校長先生らの青春を大切に生きてほしいという願いが、鮮やかに描かれている。

### ●自主見学の修学旅行

2学年の10月に行われる修学旅行は、学年ごとに計画される。メインを広島におき、後の見学場所はクラスごとに話し合ってから決める。だから行く方面はクラスによってまちまち。山口県の萩や津和野まで行くクラスも。見学は班別行動が主となる。

●みんな真剣―授業風景  
2・3年生になるとクラス単位の授業はほとんどなくなり、他クラスの人と席を並べることになる。進路を意識して、真剣そのもの。もちろん予習をしてから授業に臨むのが本校の鉄則。

### 出会い、笑顔、そして夢



### 松尾祭ニエーウエー 遠隔討論会など

今年も「松尾祭」が大に行われた。7月12、14の3日間。44回目になる。

13日には、テレビ会議システムを使って、愛知県半田高校と遠隔討論会を行った。「学歴社会」をテーマに約2時間。双方のモニターには相手方の画像が映し出され、同じ部屋にいるような感覚で討論をした。



クラスによるアンデパンダン展や、班の研究発表が行われた。そのいくつかを紹介しましょう。



# TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,  
and excitements more wonderful and much greater.  
“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- MY LITTLE LOVER
- SPeeD
- SOPHIA
- HI-STANDARD

株式会社トイズファクトリー  
代表取締役 井出孝光 (第61期)

# 松尾税友会

# 後輩に指導

# 公認会計士になりませんか

上田高校出身者で、公認会計士として活躍している者は15人いる。小林郷司(40期)を始めとして若手順では小山秀喜(73期)、緑川正博(70期)がいる。税理士では95人。ちなみに弁護士は20人。

これらは高度な知識を有する自由業として21世紀には注目を浴びる職業に違いない。在校生には今から準備して、是非目指してほしい職業だ。

松尾税友会ではこの企画を永年持ち続け、細川校長先生の温かいご理解と、進路指導の先生のご苦勞でやっと実現した。

9月20日、小林郷司会長の呼びかけで、赤池三男(58期)、小林秀一(71期)、それに小山秀喜が講師となつて母校を訪問。土曜日の授業を終えた15人の生徒が教室に集まり、1時間余にわたり熱心に先輩の話を聞いた。公認会計士も税理士も、弁護士と同様に幾多の難関を突破しなければならぬ。大学卒業程度の實力と、永年勤務したうえで栄冠を得る人が多い。でも、上田出身であれば簡単に合格できるだろう。

目を輝かせて聞いていたゴツイ男子生徒も、一番前で一生懸命聞いていたアムロ系の女子生徒もがんばれ!

数日後、校長先生からお礼の手紙と、受講した生徒から「大変参考にあり、きつと合格する」との決意文が寄せられた。

(赤池・記)



全国  
高校

囲碁

選手権

上田高校の棋道班は、第21回全国高校囲碁選手権の長野県大会において男女アベックVを果たし、全国大会に駒を進めた。以下は、応援に駆けつけたOB、小胎、内久根、小山氏らの報告である。

- 7月28日午前9時、千代田区の日本棋院会館において、厳粛な空気の中で全国囲碁選手権大会の開会式が行われていた。我が上田高校も男女とも、長野県大会の激戦を勝ち抜き、晴れて全国大会に歩を進めたのである。
- 大会場にOB達は応援に駆けつけた。上田高校の選手達は緊張した面もちで初戦を迎えており、OBからは気を楽にするよう声かけられた。
- 相手が強敵であったため、惜しくも一回戦で敗退したが、選手は実によく戦ったと思われる。戦後、選手とOBは昼食をともにし、来年に向かっての語り合いが行われた。
- 後日、引率の丸山温先生からお礼状が届き、OBからの祝金で磐石(6寸盤と白黒の石)を購入し、出場記念として永久保存する旨報告があった。

丸山温先生から・・・「3年生が引退し質量とも低下してしまったので再度の奮起を促したいと思っております。幸い女子は3名とも2年生なので来年を期待できそうです。こちらへお越しの際は一局ご指導いただければ幸いです。」



## 花火の燃焼

<花火の色は物質の燃焼によるものである>

### <1.色について>

花火の中の火薬(硫黄や木炭などを混ぜたもの)は火がたくと炎をあげて、激しく燃焼し、高温になる。その火薬の燃焼により多くの熱・光のエネルギーが放出される。

花火の中には色を發する原料として、図1のような金属イオンが含まれている。これらのイオンは化学反応で生じたエネルギーを吸収してエネルギーの高い状態になる。

即ち、原子は原子核と電子からなっている。電子は外部からのエネルギー(光熱や電磁波)の刺激を受けやすく、本来のエネルギーより外部からのエネルギーを吸収して高エネルギーの状態になると図のように原子核より外側へ移動して高エネルギーの状態になる。



# 四十二年目の 修学旅行

10月25、26、

27日、秋晴れのもと、53期7組は、倉沢先生と生徒17名が奈良に集合。

柳沢清充、橋詰良之両幹事のもと、薬師寺、唐招提寺、浄瑠璃寺、東大寺、法隆寺等々、また京都では銀閣寺、禅林寺、昼食で南禅寺のとうふ料理、最後に清水寺を見学し、3時に京都駅で解散。各自家路についた。(宮川澄男・記)



◁東大寺・大仏殿にて

そうです、昔は修学旅行は奈良、京都だったので。普段は下駄履きの上田高校生が、この時ばかりは靴をはいて行ったものでした。

でも、お寺ばかり回ってあきない様子。やはり教養を感じさせます。

## 61期ゴルフ&骨酒会



酒を酌む関氏。関東から井上剛も参加

61ゴルフ同好会は10月16日小諸高原ゴルフコースでコンペ、田中邦文氏が優勝した(ベスグロは日尾嘉男氏)。松尾弘、美斉津幸経両幹事のもと第10回大会を迎えた記念に同期・武井英子氏の桂旅館(上田高校のそば)で骨酒会を開いた。骨酒はイワナを焼いて土鍋に入れ、これに熱い酒を注いで飲むという、豪快にして優美な酒。イワナは、養殖ものが泳ぐ川ではだめと関陸夫氏がわざわざ飛騨高山まで行って釣ったこだわりの大もの。関氏は文芸班の出身。時々雑誌に随筆も載せている粋人だ。夜にはゴルフに参加しなかった同期生も大勢集まって、美酒と話題に花が咲いた。

### 通信

◆総会へのご返事  
その他から掲載します。スベースの都合上表現を一部変えてあります。

職を退き、油絵を唯一の道と精励中です。  
48 今井正明 最近「Genba KAIZEN」を英文で出版。ドイツ語、ポルトガル語、オランダ語の訳本も。日本の経営の解説書。  
48 小林和夫 43年間の教職生活を終わり、油絵を描いています。  
48 小山馨 株ジパングの監査役に就任。  
48 城下栄三郎 3年前より年金生活。ボランティア、孫の相手等をしています。  
48 塚田正直 長年柔道に励み、5月に講道館7段になりました。  
48 堀内惇 明光通商。会報もずいぶん変わってきてきて若い人にアピールしてると思う。時代に合った同窓会の形成をめざしてください。  
48 宮山榮二 2月に三機工業を退職。  
49 大石和夫 レット(株)を定年退職、東京スポーツ用品卸商協同組合の常務理事として週3日程度出勤。  
49 風間充 66歳になつたが健康維持に努めています。総会当日は自分が主催の研究会のため欠席します。  
49 鈴木一彦 仕事は2年前にリタイヤー。東海村で静かに生活。庭の手入れやパソコン遊び、たまにゴルフ。  
49 竹重信幸 3月に慶應義塾女子高校を定年退職。  
49 宮坂博 「ボランテアがこうじて」ある福祉施設の後援会長。  
50 小山羊之助 3月カルピスサービス(株)取締役会長に就任。  
50 清水正晴 「中世異端のコスモロジー」三部作を完成。今はフランス18世紀に関する著作を準備中。  
50 柳沢正人 新電元工業(株)常務を退任、常任顧問に。  
51 浅野井哲 (株)学研トイホビー専務を退任、監査役に就任。  
51 保坂利勝 造園科を卒業し市の植木班に入り、グループ長をつとめています。  
51 飯塚壽 (株)松竹プロモーション専務を退任、非常勤取締役となり、週3日出社。  
51 黒川嘉郎 品川白煉瓦(株)常勤監査役を退任、顧問に就任。  
51 竹内英晃 5月に退職しました。

- 21 島田次郎 会報、苦勞の跡が見え、面白く拝見しました。
- 25 鈴木孝 東京理科大学を卒業後教職を続け退職。昨年勲四等瑞寶章を授与されました。
- 36 滝沢克己 50を過ぎて土木工学から社会学に進み、60歳を越して東工大より工学博士(景觀工学)を頂きました。
- 40 児玉安彦 廃棄物関連で都等から委員を頼まれ昨今多忙です。
- 40 吉田節生 (株)第五企画の相談役に就任。
- 41 吉田甲子男 引退して3年、適当な運動で元気に過ごしています。
- 41 川尻悦三 連合町内会の仕事を一部やり、余暇は古代史の同好会や史跡探訪と菊作り。
- 42 小林孝雄 総会当日は逗葉会(海軍出身者の会合)で、米海軍将校との交流会で欠席。
- 47 館野良行 長年の教



## 女性同窓の会

8月29日、アサヒビールゲストルームに26名の女性会員が集い賑やかに歓談した。当日は薨会長、青柳副会長、堀内幹事長をお招きし、関東同窓会の近況等伺った。その中で女性会員の関東同窓会への参加が少なく残念であること、これからはもっと総会の方にも参加し、会をリードする位の積極性が望まれることなどが話された。

また松田松子氏は開会に当たり、この会が毎年開かれるようになった経緯を説明し、同じ門をくぐった女性同士、今後とも親睦を深めようと挨拶した。

乾杯に続き、各期生毎に近況を紹介しながら、久しぶりの再会や思いがけない出会いに話がはずみ、見事な夜景の中でビールとご馳走を味わいながら、時の経つのも忘れる一夕であった。

当番期54期の男性が心配して8名が応援に駆けつけた。(お金のことが心配だったのだと笑っていた・・・)

参加者氏名(数字は卒業期) = 52池田松子、浜野しめ、53飯島房子、小野三枝子、54石原澄江、久昌貴代子、黒岩千鶴子、橋田ちせ、55橋詰孝子、59寺島智恵子、60沼形泰枝、62小林美智子、鈴木綾子、松井由美、村川誠子、63保谷野美智子、64清水計枝、65小宮山雅子、武沢美佐子、66田村和枝、68中島みどり、69大井恭子、70高橋和枝、花岡千賀子

男性参加者 = 54市河富弘、沓掛文哉、小川則夫、神津勝重、小塚一雄、真道茂、田村朗

参加できなかった方からのお便り・一部のみ掲載させていただきます◆53渡辺百枝 = 暦も還りまして、新生活をスタートさせました。元気で山行を楽しんでいます。◆53北村禮子 = 3月、定年退職となり主人の郷里長野市に戻りました。主人の母は90才、老人介護と野菜作りに務めています。◆54羽毛田恵美子 = 永いことコーラスを続けておりました8月北海道で行われるおかあさんコーラス全国大会に関東代表で参加することになり今回は欠席させていただきます。◆63山浦成子 = 6月20日に同級会を行いました。卒業以来の人もいてとても楽しかったです。年齢は変わっても性格は昔のまま、大いに盛り上がりました。◆66古川敏子 = 上田に住んでいた歳月よりも東京(大学・勤務)、横須賀(結婚以来)の方が長くなりました。上田へは年に一回のペースで帰郷しますが、町の中心部が年々さびれていくような感じがして寂しくなります。◆69山村由紀子 = 69期女子は10月25～26日小諸にて第3回69の会を行うことになっています。

## 四十三期会 97年度クラス会

5月24日、霞ヶ関の霞会館で久方ぶりのクラス会を開催、14名が元気に集まった。初めて大橋大氏(旧姓若林)が顔を見せてくれた。卒業以来53年という長年月を感じないつかしい顔ばかりの歓談であつたという間の2時間半だった。

霞ヶ関ビル34階から議事堂、首相官邸、議員会館などを眺めながらの一時。松園氏が造った大鉢からのフルーツポンチは大変好評だった。

(佐々木三夫・記)

## 六四会開催

卒業30周年の母

校への寄贈事業の成就を記念して11月8日に上田で同期会を開催した。

秋の一日、遠方から駆けつけた友がいるなか、日が良すぎて都合がつかない仲間も多く、37名の出席に留まったが、次回の幹事を立候補した組が再会を約した。

卒業30周年の母 本宗男、井出賢次、川又勇、中島恒夫の各担任の先生がご出席くださった。30余年の月日に恩師、生徒の歳の隔たりも感じぬお元気なお姿に接しながら、五十路に踏み入った年齢の重みも感じた一日でした。

二組 幸・記

恩師として、栗

本宗男、井出賢次、川又勇、中島恒夫の各担任の先生がご出席くださった。

30余年の月日に恩師、生徒の歳の隔たりも感じぬお元気なお姿に接しながら、五十路に踏み入った年齢の重みも感じた一日でした。

二組 幸・記

卒業30周年の母

二組 幸・記

- 51 中島宏 共同通信社を退職、大学の非常勤講師のかたわら中国中心の国際問題を勉強中。
- 52 小山克志 毎日小学生新聞「悪童はどこへ消えた」を完結。自作絵入り絵本を刊行予定。
- 52 佐藤雄三 エフエム技研㈱で新製品を世に出そうと準備中。
- 52 滝沢泰造 3月定年退職、西那須野に。
- 52 滝沢利明 JR東京病院を退職、滝沢クリニック開業。 ☎ 028-268-5200
- 52 橋爪今朝男 昨年県営上田球場のスコアボードを造りました。私の指紋もあります。
- 52 柳沢忠 奥村不動産を退職、顧問に。不動産仲介の南ミスズ企画代表取締役にも就任。
- 52 矢島寛文 北野住宅販売を退任、㈱ホリデー・イン横浜の顧問に就任、中華街「重慶飯店」を併営。
- 53 浅野井恭 石川島播磨を退職、石川グラニテック㈱代表取締役に就任。
- 53 山岸義雄 ZEPSON フトウエア・会報が若々しくなっている傾向です。
- 54 有賀俊雄 泉化成㈱を定年退職、充電中。
- 54 古見喜八郎 コマツを退職、嘱託に。(勤工ニッポンに「馬場雄二の美学」を連載中。
- 56 羽島昭一 ㈱栄興(貿易) 監査役に就任。技術力を育成中。
- 56 山口周 4月「フェルマールの最終定理」を出版。一章は一般教養書、2章は専門的。
- 58 竹内和雄 1月より㈱中小企業経営研究会に勤務。 ☎ 3379-1333
- 58 堀内昭 日本信販㈱を退職、逗子に転居、家庭園芸をしています。
- 59 土屋晴彦 最近転職、特養老人ホーム勤務、特養老人ホームでの出張に。
- 67 桜井慶一 婦恋村で桜井クリニックを開業。
- 68 澤澤厚 ㈱小田急百貨店を退職、充電中。
- 68 宮川俊晴 青森県でウランの再処理工場の建設に従事。若い人と技術力を育成中。
- 73 阿部直彦 県立氷取沢高校に転勤しました。
- 77 樺沢千世美 勤めを持っていきますが、在宅777を志してパソコンのスキルアップに励んでいます。メールをお送りください。↓

リレ-随想

### 藤家衛(49期)⇨深町茂(62期)

11月2日、開通して間もない新幹線に乗って帰郷し、久しぶりに母校にも行ってみた。30数年前に毎日自転車でくぐった正門、堀、それに見事に紅葉した桜がそこにあり、感慨深かった。

私にとっては、今は跡形もないが、別所線の土手下のプールと部室が特に思い出深い。練習は2~4km程度だったので大きなことは言えないが、春休みのプール修理、プールサイドでの焚火、一面にプワッと浮ぶアオミドロを沈殿させるための硫酸銅投入、井戸小屋のポンプが空転するたびにやったスイッチの入れ直し(当時プールは井戸水を使用、感電したこともある)、部室での合宿、遠征、海水浴の見張りなど水泳部は私の高校生活の重要部分である。

(深町氏は都立大卒・全国農協中央会勤務、川越市在住。今回は、同期の藤田格氏にバトンタッチします。)

## 今はなき土手のプール

千曲高校の女子水泳部員が練習に訪れた時、我が部員に多大な動揺を与えたこと、当番で作った合宿中の食事(弁当も作った)ではビタミン不足になり、授業では毎日極端に眠くなったことなどなつかしい思い出である。

私は下手だったが、千曲川でのさなげも忘れられない。うなぎを取り逃がした時の感触は今も手に残っている。石下の魚に触れた時の緊張感が私を部室に通わせた原動力なのかもしれない。

息子が断片的に話した高校生活に比べ、我々の高校生活は、自主性に富み、充実していたのではないかと思う。恩師のご苦勞に感謝するとともに、末っ子の娘には当時の母校のような高校に行ってもらいたいとおもう。

### うえだ・人 おめでとう・日本一



母校野球部、明大を通じて、強肩強打のキャッチャーで鳴らした。その姿しか記憶にない同窓生はその変貌ぶりにびっくりするに違いない。ヤクルト本社一階のロビーに姿を現した元プロ野球選手には、どこにも昔日の面影はなかったからである。身体こそがちりちりしているものの、どこからみても普通の管理職にしかみえないのである。

「昭和44年に現役を引退してからは、野球のことはきれいに忘れました。幸いヤクルト本社が社員として拾ってくれましたので、それからは一サラリーマンとしてやっていこうと決心しました。野球しか知らない人間でしたから、すべて一から勉強でした」

総務部の仕事を中心。途中志願して不動産関連子会社の設立から幕引きまでをフォロー、その間、ぜひ必要ということでは宅建の資格もとった。入社時、松園社長(当時)と直談判。「言いたいことを言って給料や配属先を決めてもらった以上、やることをやらなければ」という意地もあったようだ。このあたり、謹厳実直の「うえだ人」の面目躍如である。

そんな人柄が評価されたのだろう、4年前、桑原社長(当

### ヤクルト球団常務取締役(連盟担当補佐) 倉島今朝徳さん(58期)

時)直々の要請で、古巣の球団の常務に就任する。

「当時私の肩書きは、不動産管理部長。野球とはすっぱり縁を切ったつもりでしたので、きっぱり断ったんですが、二度三度と説得されまして…。仕事はいわゆるフロントの仕事全般です。シーズン中は球場に詰めて、試合の中止や続行を決めたり、もめ事で放棄試合なんてことにならないよう監督や選手を説得したり。オフにはオフで、選手相手の年俵交渉。球団はれっきとした株式会社ですから、そこでは経営的な観点からシビアなこともあえていわせてもらいます。監督の野村さんに対しても同じ。相手は現場の指揮官、我々は球団経営の舵取りという立場での話し合いです。監督も頭のいい人ですから、その辺はわかまえている」

出身は真田町。故郷に話を向けると、懐かしさと悔しさの入り交じった複雑な表情に。

「新幹線もできたし、もうすぐ正月ですし、帰りたいのはやまやまなんですが、とても時間がとれません。年俵更改は、これからは本番なんです」

松尾球友会会員。趣味はゴルフと明大時代に覚えた囲碁。座右の銘は、あの島岡監督から教わった「一球入魂」。

元氣です!

### サッカー班OB 西沢一久氏(77期)

◆現代建築研究所・勤務◆☎3352-4471◆

悲願のW杯出場にかけて、私は予選5試合を観戦しました。最初は戦術分析しながら楽しんでいたのですが、状況が厳しくなるにつれ私自身のインターハイ出場の思い出、少年サッカーコーチ、3級審判員としての姿もかなぐり捨てて熱狂的なサポーターと化しています。先日はソウルまで行って来ました。世界の共通言語サッカーのすばらしさを再認識しています。

ニュース!

### 八木浩輔氏(51期)、筑波大学副学長に

同大学大学院物理学研究科教授も併任。「会員諸氏、在校生諸君のお役に立てば…」と連絡先を教えてくれた。〒305つくば市天王台1-1-1 筑波大学本部棟 副学長室 E-mail yagi@tac.tsukuba.ac.jp

## 昭和35年卒業の皆様《二木会》で会いましょう

☆特別のご案内はしませんが自由参加で同期生が集まっています。☆

とき 毎月 第2木曜日(18時~21時)  
ところ 富国生命ビル B2階 「柚庵」  
(千代田区内幸町交差点)

### 上田高校関東同窓会 58期クラス幹事

- |    |                      |    |                        |
|----|----------------------|----|------------------------|
| 1組 | 本田 祥治 048-651-9583   | 5組 | 金井 久 045-774-7399      |
|    | 奥村 昌機 03-3811-8253   | 6組 | 森 邦夫 045-542-2109      |
| 2組 | 稲垣慎太郎 045-363-7397   |    | 龍野 洋和 044-951-2162     |
|    | 金子 親碩 03-3991-2354   |    | 寺島(伊藤)智恵子 03-5984-4134 |
| 3組 | 大日向寛毅 03-3700-5708   | 7組 | 高橋 福幸 0462-85-1086     |
|    | 神津(羽田)進 0467-23-2310 |    | 寺島 紘士 03-5984-4134     |
| 4組 | 赤池 三男 03-3389-5108   | 8組 | 北村 尚巳 045-363-6307     |
|    | 柴田 哲男 045-943-1457   |    | 塚田 恒雄 0471-75-0823     |



開催 成功

## 第36回総会



もたいしげる 会長  
挨拶する 薮 滋  
(薮氏は、元農林省事務次官、  
現地方競馬会会長)

一五〇名が出席



新卒者も元気に参加

関東同窓会の重要なイベントである総会、懇親会が今年も一ツ橋の如水会館で開かれた。(6月28日。50期・児玉忠雄実行委員長)

懇親会は、各期  
で活躍中の同窓生が  
最近出版した本を母  
校に送るセレモニ  
ーもあり、(32期・中  
村禮三氏著「郷友の  
散歩道」他八点。薮  
会長から細川修校長  
に目録を贈呈)、多  
彩な「うさだの夕べ」  
となった。

栗田裕夫セブ  
ンイレブン前  
社長の講演

拍手で承認さ  
れ、会は21世紀  
に向けてまた新  
たな一歩を踏み  
出すことになっ  
た。

懇親会では、各期  
で活躍中の同窓生が  
最近出版した本を母  
校に送るセレモニ  
ーもあり、(32期・中  
村禮三氏著「郷友の  
散歩道」他八点。薮  
会長から細川修校長  
に目録を贈呈)、多  
彩な「うさだの夕べ」  
となった。

また、基金の方は、昭和60年に財政の安定を目的に、目標額1,200万円(当時の年会費納入者1,200人がベース)で発足しました。そしてその使用は規則により決められております。(別掲を参照してください。)

10月30日の基金累計額は748万円であります。基金の充実を早期に図るために、先輩諸氏のご努力により、利息も使わずに来ている様な次第です。

ご存じのように昨今の低金利でその利息もいたって少額であり、ゴールは遠のくばかりです。趣旨をご理解いただきまして、運営基金の拠出も宜しくお願い申し上げます。

以上お願いばかり申し上げましたが、会の運営につきましてご質問、ご指摘等がありますれば、執行部で承りますので宜しくご指導のほどお願い申し上げます。

敬具  
幹事長 堀内 忠久

## 長野県上田高等学校 関東同窓会第36回総会



### 関東同窓会会員各位

今年もあと残り少なくなりましたが、会員の皆様におかれましては益々お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃から関東同窓会の運営につきまして、種々ご協力を頂き、執行部一同衷心より厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、関東同窓会は皆様から頂きます年会費2,000円を唯一の収入として運営しており、これにて総会の準備、年二回の会報発行と各種会合を行っております。本来なら会合費用等は会費で全額賄うべきものでありますが、お集まりいただく幹事、委員の方々に会合費用の一部をその都度負担して頂いている状態です。

ちなみに8年度の年会費納入者は549名です。これは会報送付者数4,441名の12%にすぎません。そして金額は2,485千円となっております。このように複数年先払いの会費により辛うじて凌いでいる状態です。事情をご理解いただきまして年会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

※本文は、今総会時に同主旨の文を出席者に配布した所、全会員に配布すべきとのご意見を頂きましたので此処に掲載しました。

### 運営基金 趣旨概要

- 1 基金は関東同窓会の基本的財産として会運営の財政的安定に貢献することを目的とする。
- 2 基金は安全確実な金融機関に託し、元本はこれを保全し、利子のみをもって、会の運営に資す。
- 3 基本利子の用途は当面つぎの優先順位による。
  - ①会員名簿の発行
  - ②新卒業生の総会招待への補助
  - ③会費不納同窓生への会報送付料の補助
  - ④その他会運営の補助

運営基金拋出者

44 坂田義昭、45期 掛川暉夫、48期 増田正彦、51期 清水 順、51期 村山寿男、52期 北村 功、53期 土屋 隆、53期 堀内忠久2口、56期 金子昭彦、59期 小林義典、59期 羽田幸昌、60期 黒沢博身、65期 保野野良治、72期 小宮山修邦(口数に記入のない方は1口です) 基金合計 748万円

|              |            |            |            |            |           |             |           |            |            |            |            |            |            |            |           |            |           |            |           |            |           |           |           |            |            |            |            |            |           |            |            |            |           |            |           |           |           |            |           |           |           |           |           |            |            |            |             |            |            |            |            |            |            |            |            |            |           |            |            |            |            |            |           |           |            |            |            |           |           |           |            |            |            |            |           |            |            |            |           |            |            |            |            |            |            |           |           |            |            |            |           |            |           |            |            |            |           |            |           |           |            |            |           |            |           |            |            |            |            |            |            |            |            |            |           |            |            |            |            |            |           |            |            |            |           |            |           |           |            |           |            |            |            |           |            |            |           |            |           |            |           |           |            |           |            |            |           |           |           |           |           |            |            |            |            |            |           |           |            |            |            |            |           |           |           |             |            |           |           |            |           |           |            |           |           |            |           |            |           |            |            |            |            |            |           |             |           |            |             |            |            |            |           |            |            |             |            |            |           |            |            |            |           |            |           |           |            |            |            |           |           |            |            |            |           |            |           |            |           |           |           |            |           |             |            |            |           |            |           |            |            |            |            |            |           |           |             |            |           |            |           |           |            |           |            |           |            |            |           |           |            |            |           |           |           |            |           |           |             |           |           |            |             |            |            |            |           |            |           |            |            |           |             |           |            |            |           |            |           |           |            |           |            |           |            |           |           |            |            |           |           |            |            |           |           |            |           |            |            |             |           |            |            |           |            |            |           |           |             |           |           |           |           |           |           |           |           |           |            |           |            |           |            |            |           |           |            |             |           |            |            |             |            |             |            |           |           |           |           |            |           |           |            |           |           |            |           |            |             |            |           |            |            |            |            |           |            |            |
|--------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|-------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|-----------|------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 28期<br>小山陽太郎 | 11<br>小林孝雄 | 21<br>高橋祇市 | 12<br>真山勝美 | 10<br>宮坂民樹 | 8<br>柳原寿一 | 12<br>横山誠之助 | 9<br>渡辺忠良 | 10<br>浅井 敦 | 10<br>池島雄三 | 10<br>外山正博 | 10<br>中村礼三 | 10<br>林 重夫 | 32<br>福島重次 | 24<br>水野利男 | 8<br>村上寅男 | 10<br>朝日仁一 | 9<br>北沢 茂 | 18<br>神田精夫 | 9<br>滝沢元助 | 15<br>土屋信夫 | 9<br>松井正直 | 9<br>眞峰秀雄 | 9<br>若林彦六 | 10<br>白鳥 繁 | 13<br>岡 輝雄 | 20<br>滝沢 正 | 11<br>中山順蔵 | 11<br>小林正登 | 9<br>藤澤嘉雄 | 13<br>松野 正 | 10<br>山本五郎 | 11<br>内田重喜 | 9<br>大塚次郎 | 10<br>小山敏雄 | 7<br>関 邦雄 | 4<br>根津 勇 | 4<br>横田地弘 | 12<br>小林三郎 | 8<br>宮原 敦 | 8<br>矢島 勇 | 9<br>丸山浩一 | 3<br>三井 周 | 9<br>宮沢 寿 | 13<br>永田幹夫 | 10<br>井上忠雄 | 12<br>井本公一 | 12<br>大塚今朝信 | 10<br>小出 等 | 11<br>小林郷司 | 10<br>小山信平 | 14<br>渡辺久雄 | 10<br>生島信夫 | 17<br>金沢光男 | 14<br>川尻悦三 | 14<br>甲田 睿 | 15<br>齊藤好一 | 8<br>田中稔治 | 14<br>古松 彰 | 13<br>飯島叔男 | 11<br>今井光男 | 12<br>川上道輔 | 12<br>熊川次男 | 9<br>倉島保夫 | 9<br>児玉和男 | 12<br>小林 剛 | 8<br>小林富士雄 | 12<br>小林芳彦 | 9<br>清水貞吾 | 9<br>下村正雄 | 9<br>竹内恵三 | 10<br>田原 敬 | 16<br>土屋 亮 | 11<br>中沢利雄 | 11<br>中村哲治 | 9<br>堀内 惇 | 10<br>増田正彦 | 13<br>松本守弘 | 13<br>宮沢英人 | 9<br>村上信三 | 13<br>柳沢 健 | 13<br>山崎延秋 | 13<br>山本輝彦 | 10<br>横田正一 | 14<br>吉村 功 | 15<br>渡辺茂雄 | 9<br>石井智憲 | 9<br>上原啓郷 | 13<br>榎本秀雄 | 13<br>高橋昭平 | 11<br>滝沢源平 | 6<br>土肥幹平 | 10<br>所 昭三 | 9<br>星野賢造 | 13<br>堀内茂雄 | 12<br>南沢次雄 | 11<br>掛川暉夫 | 9<br>山邊 力 | 10<br>相沢忠一 | 4<br>有賀 治 | 9<br>出浦 仁 | 12<br>白田久子 | 12<br>工藤忠房 | 7<br>関 和夫 | 12<br>丸山浩一 | 9<br>三井 周 | 19<br>宮沢 寿 | 16<br>柄沢一彦 | 10<br>清宮栄市 | 12<br>小山邦朋 | 22<br>笹井 博 | 11<br>佐藤一郎 | 10<br>中村義夫 | 13<br>西澤祥平 | 14<br>西村 勉 | 9<br>馬場善一 | 10<br>三井芳郎 | 17<br>宮原信治 | 10<br>村瀬潤一 | 14<br>山岸五郎 | 10<br>山崎繁廣 | 4<br>相田俊一 | 11<br>白田誠人 | 13<br>浦田光男 | 11<br>大平 暁 | 9<br>酒井康裕 | 11<br>瀬田 登 | 9<br>高倉三郎 | 7<br>塚田 満 | 14<br>富永 馨 | 8<br>花岡 巖 | 10<br>堀内陽造 | 10<br>宮原 巍 | 10<br>宮本嘉興 | 10<br>堯 滋 | 11<br>守屋定重 | 20<br>柳沢洋一 | 7<br>吉村洋一 | 10<br>渡辺一雄 | 9<br>渡辺洋一 | 13<br>荒井一男 | 9<br>飯塚 寿 | 9<br>岩下裕至 | 10<br>太田幸男 | 9<br>小胎治雄 | 10<br>掛川国男 | 14<br>鎌野秀嗣 | 9<br>佐藤信博 | 9<br>塚内忠久 | 9<br>竹内英晃 | 9<br>田村忠男 | 7<br>寺島国夫 | 11<br>中沢良行 | 10<br>中曾根聡 | 12<br>中山隆雄 | 13<br>西沢 毅 | 11<br>早川正範 | 9<br>保坂利勝 | 9<br>堀内弘栄 | 13<br>宮川 司 | 11<br>村田 寛 | 10<br>村山寿男 | 10<br>母袋博一 | 9<br>柳沢 純 | 9<br>山形喜昭 | 9<br>青木 功 | 11<br>青柳位紗男 | 11<br>生駒利行 | 7<br>石和正和 | 7<br>石巻伸夫 | 10<br>伊藤裕幸 | 4<br>上原佳和 | 9<br>荻原静寿 | 11<br>掛川正司 | 9<br>川嶋 慎 | 9<br>北沢 功 | 11<br>小島芳次 | 9<br>小林岩夫 | 9<br>佐々木淳二 | 8<br>佐藤健一 | 10<br>柴田正人 | 12<br>須藤尚彦 | 10<br>瀬川直佑 | 10<br>関 恒夫 | 10<br>関 正利 | 9<br>園木元徳 | 15<br>滝沢 泰造 | 9<br>塚田進一 | 11<br>土屋義子 | 11<br>橋爪今朝男 | 10<br>浜野志め | 12<br>広瀬敏夫 | 10<br>古川 一 | 9<br>眞岩康一 | 10<br>松崎義一 | 24<br>松沢秀雄 | 10<br>水沢富士雄 | 18<br>宮島廣人 | 12<br>柳沢隆宣 | 9<br>柳沢 忠 | 10<br>浅野井恭 | 10<br>飯島房子 | 10<br>岩田 久 | 9<br>大塚教夫 | 11<br>金子昭彦 | 9<br>久保田修 | 7<br>長坂光澄 | 11<br>成田邦夫 | 11<br>新沼博雄 | 12<br>浜村浩史 | 9<br>松井廣通 | 7<br>翠川和彦 | 10<br>安田 明 | 10<br>滝沢安信 | 12<br>柳沢義孝 | 9<br>横島庄治 | 11<br>飯島辰夫 | 9<br>白田茂二 | 14<br>小林恒雄 | 9<br>杉原弘一 | 9<br>滝沢文雄 | 9<br>竹内 昭 | 10<br>内村義昭 | 6<br>土屋典久 | 15<br>西尾紀一郎 | 10<br>宮坂幸雄 | 13<br>宮下廣勝 | 9<br>柳沢正一 | 11<br>柳沢 孝 | 9<br>山浦 武 | 11<br>北原紀典 | 10<br>横沢武久 | 11<br>渡辺静雄 | 18<br>渡辺孝幸 | 10<br>市川賢治 | 9<br>伊藤文昭 | 9<br>北村尚巳 | 14<br>倉島今朝徳 | 10<br>杉浦皓充 | 9<br>竹内和雄 | 10<br>田中 剛 | 9<br>手塚洋兵 | 9<br>芳賀純道 | 19<br>宮原清明 | 9<br>柳沢義孝 | 11<br>荒井長利 | 8<br>石塚洋一 | 10<br>稲葉 茂 | 12<br>加藤 高 | 7<br>小林義典 | 9<br>羽田幸昌 | 12<br>山口元彦 | 12<br>伊藤勝文 | 9<br>萩原武仁 | 9<br>萩原英男 | 9<br>黒沢博身 | 11<br>神津昱恵 | 9<br>小川秀芳 | 9<br>小宮山毅 | 11<br>小山比呂志 | 9<br>鷹野芳純 | 9<br>田中 純 | 13<br>田中誠一 | 13<br>出嶋紀一郎 | 11<br>戸島忠彦 | 13<br>戸塚武雄 | 13<br>中垣貫三 | 9<br>福島 宣 | 10<br>古川 敦 | 8<br>古屋明子 | 10<br>丸山久勝 | 11<br>山本哲之 | 9<br>阿部 治 | 13<br>井上希代子 | 9<br>井上 剛 | 11<br>清水忠勝 | 12<br>滝沢雅男 | 8<br>細萱英久 | 14<br>三井文人 | 9<br>宮島英紀 | 9<br>吉田光明 | 17<br>青柳健次 | 9<br>桑田博章 | 11<br>田島善光 | 9<br>柳沢敏雄 | 14<br>北沢昌規 | 6<br>小林諒一 | 9<br>西沢信幸 | 10<br>松山 久 | 14<br>横山孝雄 | 9<br>渡辺弘之 | 9<br>金井栄治 | 11<br>北原藏男 | 21<br>小松正佳 | 9<br>佐久利行 | 9<br>村居次雄 | 11<br>柳沢信義 | 9<br>吉田公生 | 11<br>上原 昇 | 12<br>内堀 信 | 10<br>柿 篤 眞 | 9<br>柄沢雅堂 | 10<br>小山雅文 | 14<br>高橋芳武 | 9<br>高畑悟郎 | 9<br>田中由起子 | 10<br>田村一平 | 9<br>手塚幸次 | 9<br>中沢 等 | 11<br>保野野良治 | 9<br>牧野 泉 | 9<br>宮川恵三 | 9<br>宮原 豊 | 9<br>石黒初枝 | 9<br>駒津敏洋 | 9<br>小森幸則 | 9<br>清水道男 | 6<br>高寺好一 | 7<br>田口 博 | 14<br>生島久資 | 9<br>猪坂周一 | 11<br>坂口公一 | 9<br>長井久二 | 9<br>長谷川栄一 | 11<br>水島良子 | 9<br>山下一雄 | 9<br>黒岩寿久 | 10<br>斉藤晴男 | 16<br>塩野人文雄 | 9<br>近藤正昭 | 12<br>塚田成夫 | 8<br>山村由起子 | 11<br>荒井見津夫 | 10<br>小林良夫 | 10<br>征矢野進一 | 9<br>花岡千賀子 | 9<br>丸山清光 | 9<br>虫明陽子 | 9<br>掛川洋二 | 8<br>気田夏子 | 11<br>酒井利治 | 9<br>関 博明 | 9<br>西田光男 | 12<br>福島正明 | 9<br>黒岩淳子 | 9<br>小平康人 | 11<br>橋爪宏達 | 9<br>柳沢信雄 | 10<br>山口哲明 | 10<br>大日方一成 | 10<br>羽田 平 | 9<br>池田宏明 | 11<br>石井秀樹 | 11<br>渡辺 博 | 10<br>小林恒雄 | 11<br>清水茂夫 | 9<br>田中和茂 | 9<br>小須田武志 | 10<br>滝沢豊久 |
|--------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|-------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|-------------|-----------|------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|

年会費納入者氏名

◆会費・基金とも、平成9年4月1日～10月31日までの納入者です。  
◆氏名の後の数字は、複数年の会費を平成何年まで納入されているかを示しています。  
◆お問い合わせは、事務局・幹事長堀内まで(☎043・253・6365)

?難しいを ! 分かりやすく

難しい技術資料を分かりやすい表現のマニュアルにすれば、  
エンドユーザとの間に良質のコミュニケーションが生まれます。  
良いコミュニケーションを作り出すために、マニュアルの作成、  
ドキュメント整備のコンサルティングをお引受けします。

株式会社 プライム・システムズ

代表取締役社長 宮坂 幸雄 (57期)

〒170 東京都豊島区東池袋3-9-12 ☎03-3987-2377

ニュース



山邊力氏 (45期)

写真集を出版

ロッキード事件などに携わった元検事が退職後趣味で撮った写真を写真集にまとめ、3大新聞で取り上げられた。年末頃からは、東京新聞でも連載が始まる(毎週月曜日) そうだから注目しよう。